

奥野のみか 活動の「基本的な姿勢・考え方」

- 1 幅広く確かな視点で現実をとらえ、課題解決に向けた一歩前進をめざします
- 2 多様性を認め合い、差別や暴力を許さない社会をめざします
- 3 行政施策がバラバラにではなく、総合的・効果的に行われることをめざします
- 4 対話を大切に、協働して課題解決に取り組む「草の根民主主義」の確立をめざします
- 5 「明日につながる今」をつくるために、本当に大切に必要施策に税金を使う市政をめざします。また、私の政治活動に関する収支を透明化します

プロフィール

- 奥野美佳（おくのみか）
1964年11月10日、中宮西之町で生まれ育つ
- 勝山愛和香里ヶ丘幼稚園、中宮小学校、中宮中学校、長尾高等学校を経て、1987年、奈良女子大学文学部教育学科（心理学専攻）卒業
- 1988年、枚方市役所入職、自治活動課、同和対策室、障害福祉課、保健センター、高齢社会室、健康総務課、監査委員事務局、子ども青少年課、社会教育課で勤務（2018年8月退職）
- 家族：夫と2男1女
- 血液型：AB
- 趣味：水泳、朗読
- 好きな言葉：一隅を照らす



おくの奥野みかパートナーズのご案内

「奥野みかパートナーズ」は、住みよいまちづくりを皆さまとともに考え、意見を集め、ともに育てる会にしたいと思っています。

日々の生活の中で不安に思うこと、困っていること、政治につながるかはわからなくても疑問に思うこと等々、皆さまの声を奥野みかにお聞かせください。

皆さまとの対話から力をもらって、身近にある課題を解決するために全力を尽くします。

「奥野みかパートナーズ」にご加入いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



立憲民主党

おくの奥野みかの考え方や政策は、ホームページで公開しています。

<https://okuno-mika.com>

奥野 みか 検索



- 事務所連絡先
〒573-0023 枚方市東田宮1丁目15番6-807号
- TEL：090-5360-6633
- FAX：072-846-4656
- E-mail：hirakata@okuno-mika.com



まずは暮らしの安全・安心

頼りになる公共政策の確立を!

おくの
奥野みか

枚方市議会議員

私は、2019年4月、皆さまのご支援により、枚方市議会議員に初当選させていただきました。そして、この間、すべての人々が、明日につながる「今」を輝いて生きていけるまち、安心して暮らせるまちを実現するため、全力で議員活動に取り組みました。

私は、議員の役割を「社会の状況や市民の声を踏まえ、行政（枚方市）に対して様々な施策や事業を適切に行うことを求めること」だと考えています。

そして具体的には、在宅医療・介護連携の促進、妊産婦の支援、「子育て」の支援、まちの安全・安心を守ることを重点的な課題とし、それらを支える「信頼される行政」の確立をめざしています。

ところが、この間は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、その対策に追われたのが実情です。また、莫大な財源を使い、大阪府の土地に枚方市役所を建替え移転しようとする事業が強引に進められましたが、それらの課題に対しても、市民の利益を守る立場で向き合ってきました。

まだまだ、取り組めていない課題があります。皆さまのご意見・ご要望を大切に、引き続き、全力を尽くします。



すべての人々が、一人ひとりの「今」を輝いて生きていくことができる社会をつくりたい

政治への志

CHABRIT

いま、枚方市に大切なこと

今、日本では、長く続く新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナへの軍事進攻とともに、エネルギーや資材コストをはじめとする物価の上昇、そして実質賃金の切り下げなどにより、大変厳しい社会・経済状況にあります。また、枚方市における人口減少も確実に進行しています。

そこで、まずは今、このまちで暮らしている人たちの暮らしの安全・安心をしっかりと支えるとともに、50年先、100年先を見据えて、持続可能なまちづくりを進めなくてはなりません。そして、市民の皆さまからお預かりする税等は、

大切に、「賢く」使わなければならないと考えています。

しかし、現在の市政は、枚方市役所周辺の広くて貴重な市有財産を売却して民間開発事業者にタワーマンション建設等の開発をさせ、さらに数百億円もの巨費を投じて、疑問だらけの事業を行おうとしています。

私は、今後も市民目線での判断を大切に、良識ある堅実な市政運営を求めてまいります。



政策課題

※詳しくはこちらへ



誰ひとり取り残されないまちをつくる



- 「違い」が尊重され、すべての人が包摂されるまちの整備
- 長期化するひきこもりや孤独・孤立に対する支援、経済的困窮からの自立支援等の強化
- 差別、ハラスメント、DV等に脅かされる人を支える体制の整備
- 在住の外国人・児童生徒に対する日本語学習等の支援体制の整備

子育て・子育てを支えるまちをつくる



- 妊娠～子育て、切れ目のない医療・保健等のサポート体制の整備
- 様々な子どもたちを包摂し、成長を支える教育の推進
- 児童虐待を防ぎ、子どもたちの命と心を守る体制の充実
- 災害に強く、バリアフリーで安全快適な教育環境の整備
- 子どもたちの成長を支える人材確保、育成の支援、体制の充実

健康を守り、老いても住み慣れた地域で暮らせるまちをつくる



- 感染症から生命を守る保健衛生と医療体制の整備
- 認知症の予防や症状軽減、取り巻く人たちの理解の促進
- 障がいや難病を持つ人へのサポート体制の拡充、働ける場の拡大
- タバコによる健康被害の防止・受動喫煙対策の拡充
- 介護サービスの整備、地域における医療と介護の連携強化の推進

安全で魅力のあるまちをつくる 信頼できる地域自治を確立する



- 老朽化した公共施設を解体撤去して広場とし、災害対応の拠点となり、地域情報化に対応できる新庁舎の整備
- 災害発生時における避難誘導体制等の整備、現場対応力の強化
- 高い専門性と柔軟な対応能力を備えた行政組織の確立
- 地域コミュニティやNPO等との協働の推進